

玉名市立滑石小学校

—平成28年度 School Pride NO.1—

児童数 128 人 職員数 16 人

なめいし

「滑石」という地名のいわれ・・・

菊池川が干満差が日本一の有明海に注ぐ河口に位置する地域。この地域で、菊池川の上流から流された石が丸くなり、さらに有明海から打ち寄せる波でさらに丸く滑らかになったためという説がある。

干潟の自然に感謝しながら、地域とともに

伝統のシャク釣り、貝堀り

6月17日

熊本日日新聞や広報「たまな」でも紹介されたように、今年も滑石漁協の全面協力により「シャク釣り・貝堀り大会」を行いました。当日は、3～6年生児童と保護者・地域の方々と一緒に自然体験を楽しみました。シャク釣りに夢中の子ども、アサリなどの貝堀りに夢中の子ども、それぞれですが、どちらにしてもたくさん捕るにはコツが必要です。地域の方々の知識や知恵が頼みの綱。おとなも、ときどき童心に戻って、地域の方々の話に耳を傾けていました。



ふでが動いた！この穴にいるぞ。どれどれ。



さわってごらん。
つめのところを持つんだよ。



ほ～ら、捕れたぞ。いいな～。

強い日差しに照らされて、終わるころにはみんな疲れていました。

しかし、シャクのてんぷら、アサリのバター焼きや味噌汁と夕飯の献立を考えると、元気も出てくるようでした。

玉名市教育委員会「学力向上」推進校

平成27・28年度の2か年の研究指定を受けました。下記のような研究の方向性のもと、主体的に学習する児童像をめざし、研究を進めています。

研究テーマ 自分の思いを豊かに表現する子どもの育成
～ 対話を重視した国語科学習の指導を通して ～

仮説1：「対話」を重視した「高める過程」における練り上げの充実

仮説2：日常指導や環境、読書活動の充実

また、児童の日常における学習態度や学習習慣、生活規律の育成のために「滑石スタンダード(滑石SD)」を設定し、中学校まで見据えた指導を行っています。

学習スタンダード「当たり前を当たり前」

- 自分で準備、忘れ物ゼロ、自主学習を定着しよう。
- 授業が始まる前に席に着こう。
- よい姿勢で椅子に座り、発言者の方を向いて話を聞こう。
- 名前を呼ばれたら「はい!」としっかり返事をしよう。

加えて、教師側の共通実践事項も設定し、全教師で声を掛け合いながら、意識するようになっています。

- 学年の家庭学習時間にふさわしい内容・量を考えて、課題を出す。
(低・中・高学年別に、内容は学習スタンダードにも記載。)
- 各授業で、練り合いの時間を10分間以上確保するように心がけ、できたら週案の教科欄に○印をつけておく。
(成果や課題は、自由記述欄に記録。)
- 授業は、チャイム通りに終わる。
(時計を電波時計に変え、全校集会で全児童にも宣言。)

なかよし集会

6月22日

本集会は、学年の枠にとらわれず、全児童が同一教材を使って人権について学び、考える集会です。今年度は、次のように学習を進めました。

- ①各学級で、事前に、DVD「みーつけた」を視聴して、自己を振り返る学習を行う。
- ②集会では、異学年児童で構成した縦割り班ごとに「自分がんばっていること」や「友達のいいところ」を発表し合い、意見交換を行う。
- ③縦割り班での話し合いの内容を、班の代表が全体に発表する。

